

第 35 回『なかま』実践研究集会について

平素は、人権教育の推進並びに本会発展のためご尽力を賜り深謝申し上げます。

1960年に発刊された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改定され、『なかま』は、多くの学校・園・所において様々な授業実践が展開されています。また、県教育委員会からは「なかまとともに小学校1」が2012年度に、「なかまとともに小学校2」が2013年度に、「なかまとともに中学校」が2014年度に、そして「なかまとともに高等学校」が2015年度に発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第1回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告など、第35回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

つきましては、公務ご多忙の折りと存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 主催 奈良県人権教育研究会
2. 期 日 2022年2月4日（金）
3. 会 場 奈良県社会福祉総合センター
 橿原市大久保町 320-11
 (近鉄叡傍御陵前駅 東出口から北東へ250m)
 全体会：分科会場にてビデオ視聴
 分科会：5F 研修室 B/C・大会議室
 * 駐車場はありません。公共の交通機関でお越しいただくか、有料駐車場をご利用ください。



4. 研究テーマ

すべての子どもたちに、人権についての認識を深め、部落差別をはじめさまざまな人権の問題を正しく理解・認識させるために、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

5. 日 程

受付	全体会 講演（ビデオ映像）		休憩	分 科 会
	挨拶 趣旨 説明	演題：「人権教育を進めましょう！」 講師：九鬼立明さん (奈良県人権教育研究会 前会長)		

13:00 13:30 13:40

14:50 15:00

16:30

6. 参加費 1,000円（資料代）

7. 参加申込 参加を希望される方は、参加申込書を各郡市人教事務局に、1月 日まで申し込んでください。

8. 全体会 講演 「人権教育を進めましょう！」（ビデオ映像）
講師 九鬼立明さん（奈良県人権教育研究会 前会長）

「人権とは？人権教育とは？」ということから、人権尊重の視点に立つ学校・学級づくりを推進する上で基本となることについて話をします。また、同和教育を人権教育に発展させていく状況において、「なかま」（2002）や「なかまとともに」（2013～2016）を作成したねらいや教材について、さらに中学校において「なかまとともに」等を活用した実践例についてお話しします。

9. 分科会

①「ええやん そのままで 一人ひとりの個性を大切に」
～言葉で思いを表現する活動を通して～

広陵町立広陵北小学校 3年学年集団

「ええやん、そのままで」この言葉を合言葉に学年がスタートした。ありのままの自分も友だちも大切にできる集団を目指し、日々の学級活動や教科、休み時間など、色んな角度から取組を行ってきた。自己理解と他者理解を行うことで、友だちの知らなかった部分を発見し、本校の教育活動で大切にしている「箸尾の三合い」（は…励まし合い、し…信じ合い、お…補い合い）の取組を通して、なかまとの絆を深めてきた。個性豊かな42人の子どもたちとの取組を報告させていただきます。

②ジェンダー教育の実践～「何であかんの」の取組から～

田原本町立南小学校 内本祐希さん

ジェンダー教育とは、性の在り方に対する思い込みや押しつけを減らし、ジェンダーに理解のある大人に育てることを目的としています。本校の3年生児童は、普段の様子から「男子は」や「女子は」など性別で一括りにして物事を考えたり、決め事をしたりするような場面がみられます。また、性格や行動も性別によって分けられると思っている児童がほとんどです。そこで、児童一人ひとりのジェンダーに対する意識を高めるための取組を実践しました。今回は、その取組について報告します。

③「一人一人が輝ける授業づくり」～性の多様性に気づく授業案づくりを通して～

奈人教「男女」共生教育部会 諸岡恭子さん（生駒南第二小学校）

昨年度、「男女」共生教育部会の就学前と小学校のグループでは、絵本「RED」を教材としてどのような展開ができるか、指導案を考え、部員の各校園で実践し交流しました。本校では、「RED」の取組をうけ、なかまとともに「ふたりのゆう」を学習して、固定観念とらわれず自分らしく生きていくことの大切さや「性の多様性」にも気づいていけるよう取り組みました。

第35回『なかま』実践研究集会 参加申込書

所 属

校・園・所

No.	分科会 番号	名 前	No.	分科会 番号	名 前
1			3		
2			4		

各郡市人教事務局まで、1月 日までに申し込んでください